

角淵由英氏が開発した「生成AI特許分析

GPTs」

Felo AI

概要

角淵由英氏によって開発された「生成AI特許分析GPTs」は、ユーザーが分析したい技術内容を簡単な文章で入力するだけで、ウェブ情報と特許情報を段階的に調査・分析し、包括的なレポートを生成するエージェント型のGPTです[3][21][42]。このツールは、特許調査や技術動向分析の効率化を目的としており、RFIDセルフレジシステムなどの具体的な技術テーマに対して、技術概要から特許情報、さらにはビジネス実装に関する詳細な調査結果までを提示します[42]。

詳細レポート

「生成AI特許分析GPTs」の機能と利用プロセス

角淵由英氏が開発した「生成AI特許分析GPTs」は、特許情報の調査・分析プロセスを自動化し、ユーザーに深い洞察を提供することを目的としています[42]。利用者は分析対象の技術について簡単な説明文を入力するだけで、ツールが自律的に調査と分析を進めます[3][21][42]。

利用プロセスと出力内容

以下は、[\[42\]](#)で紹介されている「RFIDタグとリーダーを活用したセルフレジシステム」を例とした場合の、ツールの利用プロセスと出力内容の概要です。

1. **入力:** ユーザーは分析したい技術の概要を入力します。例えば、「RFIDタグとリーダーを活用したセルフレジシステムは、商品をカゴに入れたまま読み取り部に置くだけで、瞬時に金額の集計と決済が可能となる革新的な技術です」といった内容です[\[42\]](#)。



2. **Part 1/3: 技術に関する一次調査レポート（概要+構造整理）** 入力された技術内容に基づき、ウェブ情報などを活用して以下の項目が整理されます[\[42\]](#)。

- **技術概要:** RFIDセルフレジの基本的な仕組みなど。
- **導入事例:** ユニクロのセルフレジシステムなど、具体的な導入ケース。
- **技術的特徴と利点:** 非接触・一括読み取り、読み取り精度の向上、在庫管理の効率化など。

- **課題と対応策:** 初期導入コスト、環境要因による読み取りエラーとその対策など。

3. Part 2/3: 特許情報の分析レポート ユーザーが次のステップに進む指示（例：「OK」と入力）を出すと、関連する特許情報が分析されます[42]。

- **関連特許の概要:** 主要な特許（特許番号、出願人、発明の概要、出願日、主な特徴）が表形式で提示されます。

特許番号	出願人	発明の概要	出願日	主な特徴
US20020139617A1	NCR Corporation	RFIDラベル付き商品の重量を測定し、RFID応答と比較して購入を確認するセルフサービスチェックアウトシステム	2002年	RFIDラベル、重量測定、支払い処理の統合
US20080211671A1	IBM Corporation	RFIDタグと距離・方向検出リーダーを使用して商品を検出し、セキュリティアラームをトリガーするセルフチェックアウトキオスク	2008年	距離・方向検出、セキュリティシステムの統合
US8825531B1	NCR Corporation	顧客が商品情報を入力し、支払いを行う自動セルフチェックアウトシステム	2014年	顧客入力、支払い処理、情報提供の統合
US20210264756A1	Amazon Technologies, Inc.	ショッピングカートを観客のオンラインカートとリンクし、商品を自動的に追加・削除するシステム	2021年	オンラインカート連携、自動商品管理
US7461785B2	NCR Corporation	購入確認を強化するセルフチェックアウトシステム	2008年	購入確認の強化、セキュリティ機能

- **出願トレンドと技術分類:** 特許出願の時系列的な傾向や、主要なIPC/CPCコードが示されます。
- **主な出願人と競争状況:** NCR Corporation、IBM Corporation、Amazon Technologies, Inc.などの主要プレイヤーとその動向。
- **特許の質と影響力:** 被引用回数や国際出願状況などを基にした評価。
- **技術的ホワイトスペースと今後の展望:** AI活用、モバイル連携、読み取り精度改善など、今後の開発が期待される領域。

4. **Part 3/3: ビジネス実装・製品化・規制・資金調達の詳細調査** さらにユーザーが進行を指示すると、ビジネス側面からの詳細な調査結果が提供されます[42]。

- **商用導入事例と製品化状況:** ユニクロ、東芝テック、アスタリスクなどの具体的な導入事例や製品。
- **資金調達と企業動向:** 関連企業への投資状況など。
- **規制と標準化の動向:** プライバシー保護、電波法、国際標準化の動き。
- **Webと特許情報の整合性検証:** Part1のウェブ情報とPart2の特許情報の一致点や関連性を検証。
- **Forward-Looking View (2030年までの展望) :** AI連携、モバイルデバイス統合、グローバル標準化など、将来の技術発展予測。

5. **Deep Research用プロンプトの出力:** 一連の分析の最後に、より詳細な調査（例：Tier-1コンサルティングファームが作成する1万米ドル以上の価値を持つセルサイドレポートレベル）を行うための詳細なプロンプトが出力されます。このプロンプトには、調査範囲（対象国、特許・ビジネス情報源の量、期間）、具体的な納品物（エグゼクティブサマリー、技術概要、特許ランドスケープ、ケーススタディ、ビジネスエコシステム、リスク分析、戦略的機会など）、図表の仕様（線グラフ、ヒートマップ、ネットワークグラフ、UMAP/TSNEプロットなど）、品質担保のためのルール（ハルシネーションの排除、一次情報源の優先、推測の明示など）が含まれます[42]。

関連ツール：「生成AI先行技術調査GPTs」

角淵氏は、「生成AI特許分析GPTs」の他にも、「生成AI先行技術調査GPTs」というツールについても言及しています[6][29]。これは、自然言語で入力された技術アイデアに基づいて、先行技術を段階的に調査・検証するエージェント型GPTです[6][29]。例えば、「磁石を使って箸の先端を浮上させる」というアイデアに対して、以下のようなステップで分析と検索を進めます[6]。

● Step 1: 初期解釈と技術要素抽出:

- 入力文の構文・意味解析（主語、目的・機能、手段・補助技術の特定）。
- 技術要素の役割分類。
- 関連キーワード・分類候補の抽出（日本語・英語のキーワード、同義語・関連語、想定されるIPC/CPC分類コード）。

この先行技術調査GPTsも、特許調査の初期段階におけるアイデアの具体化や検索戦略の立案に役立つと考えられます。

生成AI活用のポイント

角淵氏は、生成AIを特許スクリーニングなどに活用する際のポイントとして、生成AIと対話しながら課題解決を目指すことの有効性を指摘しています[9]。特に、何が本当の課題であるか自身で理解できていない場合、良いプロンプトを入力することは難しいため、対話を通じて進めていくことが推奨されています[9]。また、特許文献のスクリーニングにおいて、生成AIに一貫したフォーマットで出力させることで、比較・分析が容易になるとしています[25]。

これらのGPTsは、特許調査の専門家でない初心者にとっても、特許文献の理解や分析を効率的に行うための強力なサポートツールとなることが期待されます[9][42]。

1. [Generative AI Patent Drafting Tools for Word - ClaimMaster](#)
2. [Patent Landscape Report - Appendices - WIPO](#)
3. [生成AI特許分析GPTsの使い方 - note](#)
4. [Four Use Cases for Automation and GPTs in Patent Drafting](#)
5. [Advancing patent law with generative AI: Human-in-the-loop ...](#)
6. [生成AI先行技術調査GPTsの使い方 - note](#)
7. [High-Quality AI Generated Summaries for Patents - AcclaimIP](#)
8. [Best AI Patent Drafting Tools of 2025| Expert Review - DeepIP](#)
9. [特許文書の読み方（7）生成AIをスクリーニングに活用する ...](#)
10. [Using generative AI to detect societal promises in patents](#)
11. [生成AIやGPTを使用した特許情報分析とデータ活用のポイント ...](#)
12. [Putting ChatGPT to the Patent Analysis Test - UnitedLex](#)
13. [ChatGPTは特許出願や特許分析ができるか？対話型AIについて ...](#)
14. [Integration with Generative AI/LLMs - ClaimMaster Software](#)
15. [「生成AI調査・分析オプション Patentfield AIR」を本日7/1 ...](#)
16. [AI Patent Drafting: Patent Drafting Copilot vs GPT](#)
17. [AI生成特許サマリー - アナクア知財管理ソフトウェア&サービス](#)
18. [Patent search, classification and drafting in the age of ... - IPRally](#)
19. [ChatGPT から見る特許戦略：OpenAI の技術的優位性を解説する](#)

20. [The Rise of Generative AI Patents: Stats on LLM & AI Model ...](#)
21. [生成AI特許分析GPTsの使い方 - note](#)
22. [生成AIやGPTを使用した特許情報分析とデータ活用のポイント ...](#)
23. [AI生成特許サマリー - アナクア知財管理ソフトウェア & サービス](#)
24. [Four Use Cases for Automation and GPTs in Patent Drafting](#)
25. [特許文書の読み方（7）生成AIをスクリーニングに活用する ...](#)
26. [Integration with Generative AI/LLMs - ClaimMaster Software](#)
27. [知財業務 生成AIでどこまでできる？](#)
28. [ChatGPTは特許出願や特許分析ができるか？対話型AIについて ...](#)
29. [生成AI先行技術調査GPTsの使い方 - note](#)
30. [Using generative AI to detect societal promises in patents](#)
31. [Putting ChatGPT to the Patent Analysis Test - UnitedLex](#)
32. [The Rise of Generative AI Patents: Stats on LLM & AI Model ...](#)
33. [High-Quality AI Generated Summaries for Patents - AcclaimIP](#)
34. [ChatGPT から見る特許戦略：OpenAI の技術的優位性を解読する](#)
35. [「生成AI調査・分析オプション Patentfield AIR」を本日7/1 ...](#)
36. [Generative AI Patent Drafting Tools for Word - ClaimMaster](#)
37. [Patent Landscape Report - Appendices - WIPO](#)
38. [AI Patent Drafting: Patent Drafting Copilot vs GPT](#)
39. [Patent search, classification and drafting in the age of ... - IPRally](#)
40. [Advancing patent law with generative AI: Human-in-the-loop ...](#)
41. [Best AI Patent Drafting Tools of 2025| Expert Review - DeepIP](#)

42. [生成AI特許分析GPTsの使い方 | 角淵由英 \(つのぶちよしひで\)](#)
43. [生成AIやGPTを使用した特許情報分析とデータ活用のポイント【アーカイブ配信】 | セミナーのことならR&D支援センター](#)
44. [AI生成特許サマリー - アナクア知財管理ソフトウェア & サービス](#)